



JANOGスタッフをやってみよう！ JANOGで発表してみよう！

JANOG41 実行委員会 プログラム委員
黒河内 倫

目次

- はじめに
- JANOGスタッフをやってみよう！
- JANOGで発表してみよう！
- QA

はじめに

JANOG実行委員となるスタッフ(現在のスタッフ種別はPCとORGの2つ)および
JANOG本会議で発表されるプログラムは、会毎に募集をかけられる

この募集されるスタッフについて、メールの募集要項をより深掘した内容を、
工数やかかる費用を中心に、スタッフ未経験者でもわかるように説明する

またプログラムについては、こういった基準で先行しているのか、
アブストラクトはどこまで書けばよいかなどを説明する

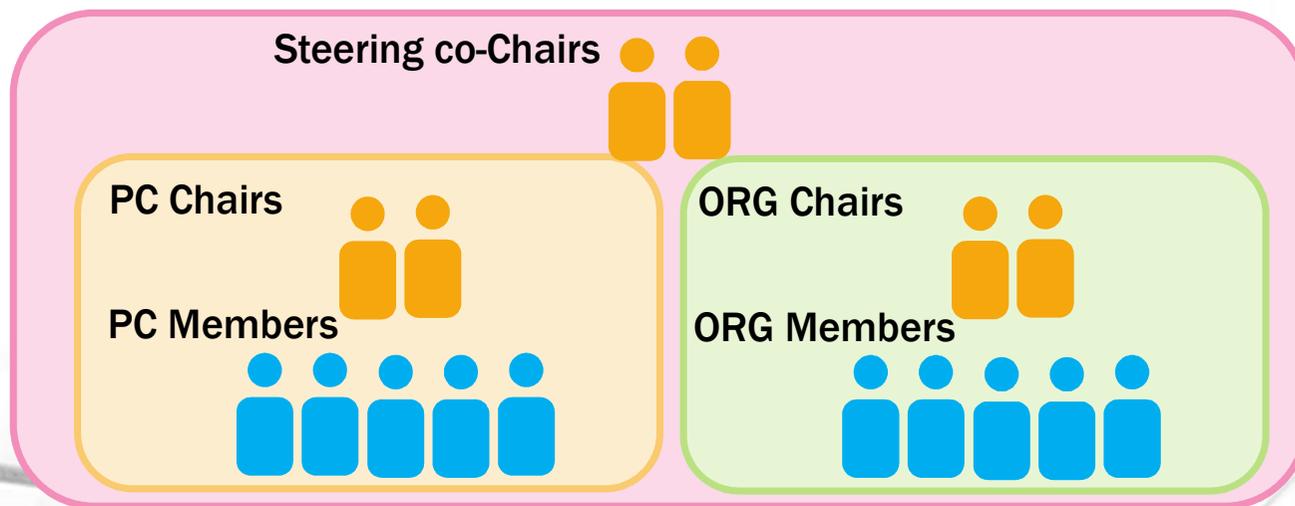
JANOGスタッフをやってみよう！

JANOGスタッフをやってみよう！

- JANOGスタッフとは！？

JANOGが開催される毎に、その会専属の実行委員が募集される

募集されるメンバーは、プログラム委員(PC)のメンバーと企画編成委員(ORG)のメンバーの2種類(2018年1月現在)となる、メンバーはそのJANOGを成功させるために、約5ヶ月間実行委員のワークを実施していく



JANOGスタッフをやってみよう！

- 会社に説明できるスタッフを実施するメリット

1. 通常の参加よりも、よりDeepに業界内の横のつながりが確立できる
会期中だけでなく、それ以外の時間でもスタッフ内でコミュニケーションが必要となるため、非常に密な関係を作ることができる
2. 業界内のトレンドや運用のキャッチアップが早くなる
JANOGスタッフ内およびプログラム発表者との打ち合わせの中で本会議のプログラムでは発表されない話ができる
3. イベントを完成させる達成感を得られる
800人規模の大規模なインターネットイベントを作り上げることができる

JANOGスタッフをやってみよう！

- PC/ORGの具体的な活動内容

プログラム委員(PC)

- JANOG本会議当日に発表されるプログラムの選考
- 選考されたプログラムを発表者とともに作り上げる
- プログラム発表者とMTGやメールを通じて、発表内容や進捗を確認する

企画編成委員(ORG)

- JANOG Meetingおよび発表されるプログラムの広報
- スタッフグッズや当日の配布物などの製作物の作成
- ストリーミング/アーカイブ配信の機材の手配および配信作業

JANOGスタッフをやってみよう！

- 会社に対して説明する工数

会期前

- ・打ち合わせ

4回のスタッフ全体のMTG(定時後に都内で実施される)
プログラム委員はこれ以外に2回のプログラム選考MTGと
プログラム発表者との打ち合わせが実施される

いずれの打ち合わせもリモートの参加可能となっている

- ・PC/ORGスタッフ業務

準備期間約5ヶ月の間、1ヶ月辺り約15時間ほどの稼働となる

※あくまで目安であり、会毎/月によっても可変する

会期中

会期中ということもあり3日間がFULLでJANOGの稼働となる

JANOGスタッフをやってみよう！ -スタッフに応募するには？

Step1. 以下の費用と前頁の工数を上長とすり合わせる

会議場の下見：3月or10月の1日、ただし参加必須ではない

本会議当日：会期中の水曜日-金曜日の2泊3日、必要であれば前後泊を追加する

開催場所は右記に記載 <https://www.janog.gr.jp/meeting/index.html>

Step2. 2月と9月にjanog@janogのMLに応募がかかるため、応募を実施

※応募したからといって確実に当選する訳でない

応募数が多い場合は落選してしまう可能性もある

JANOGで発表してみよう！

JANOGで発表してみよう！

- プログラム採用とは？

JANOGが開催される毎に、その会で発表されるプログラムが募集される
募集されるプログラムは、以下の4通りである

- 1.通常プログラム(発表時間:30分-90分)
- 2.ショートプログラム(発表時間:10分-15分) [質問時間無し]
- 3.ライトニングトーク(発表時間:5分)[質問時間無し]
- 4.BoF(発表時間:120分)

ただし会場の都合などで、**募集されるプログラムの種別は会によっては変更される可能性はある**ため、プログラム募集のメールをよく確認してから応募すること

JANOGで発表してみよう！ - プログラム採用される基準って？

通常プログラムは、募集されたプログラムの中からプログラム委員全員でディスカッションをして決定する

主な選考基準はJanogCommentで定められた内容(営利目的など)や、その会のJANOGのテーマにそっている内容であるか、またJANOGは議論を重視しているため、議論ができる内容であることが重要であると判断する

それ以外のプログラム(SP/LT/BoF)は、会毎に採用基準が変更となるが主には通常プログラムと同じか、以下の基準で採用が決定する

- ・公開アンケート
- ・早く応募があった順
- ・選考せずすべて取る

なお、実行委員であるかどうかは、選考の優劣には関係しない

JANOGで発表してみよう！

- アブストってどこまで書けばいいの？

選考する人間が**発表内容をイメージできる**ことが重要である
あまりに短く端的すぎるアブストラクトの場合、判断が出来ないという理由で
落選してしまう可能性はある

応募時に発表資料が出来ているまでは必要はないが、
事前資料のレベルのPPTがあると、より良い

また応募したアブストラクトがそのままJANOGのプログラムページの
“概要”の内容になることが多い

そのため、どのように記載するかは過去のJANOGのプログラムページを
参考するとよい

QA